

報道発表



令和8年2月17日
長崎税関

不正薬物の摘発件数・押収量が増加

— 令和7年の長崎税関における関税法違反事件の取締り状況 —

令和7年の長崎税関における不正薬物の密輸入その他の関税法違反事件^{※1}の取締り状況についてお知らせします。

1. 税関における密輸阻止に向けた取組み

貿易が不正な手段によって行われると正常な経済活動を阻害するばかりではなく、国際的な信用も失いかねません。また、覚醒剤・麻薬等の不正薬物、銃器、爆発物等のテロ関連物資などの密輸入は、国民の安全と健康に重大な影響を及ぼします。

税関は、貿易の秩序を維持し、社会の安全を守るため、取締・検査機器の強化を図りつつ空港や港湾等において厳格な密輸取締りを実施しています。

2. 長崎税関における摘発実績

当税関の管内^{※2}における不正薬物^{※3}の摘発件数は9件（前年比3件増の1.5倍）、押収量は約1,065g（同約1,049g増の62.7倍）と共に増加しました。

また、不正薬物以外の摘発件数は4件でした。

3. 長崎税関における処分^{※4}実績

当税関における処分件数は、告発7件（前年比2件減）、通告処分10件（同5件増）の計17件（同3件増）でした。

※1 関税法に抵触する「禁制品^{※5}輸出入事犯、関税脱税事犯、無許可輸出入事犯、虚偽申告輸出入事犯、手続き違反等」をいう。

※2 壱岐・対馬を除く長崎県内、佐賀県と福岡県の各一部、熊本県と鹿児島県の全域。

※3 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物^{※6}をいう。

※4 告発及び通告処分に限る処分であり、他税関で摘発され当税関に引き継がれた事件を含む。

※5 関税法第69条の2及び同法第69条の11に規定する「輸出または輸入してはならない貨物」をいう。

※6 危険ドラッグに含まれる物質のうち、中枢神経系の興奮・抑制・幻覚の作用を有し、人の身体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれがあるとして、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」で規制されているものをいう。

[問合せ先]

長崎税関 総務部 税関広報広聴官

TEL 095-828-8606（直通）

長崎税関における関税法違反事件の摘発実績

| 種類 | 年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 | 令和7年 | 前年同期比 |
|---------------|---|-----------------------|------|------|-------|----------------------|--------|
| | | 件 | g | g | g | - | |
| 覚醒剤 | 件 | - | - | - | 1 | - | 全減 |
| | g | - | - | - | - | - | - |
| | 錠 | - | - | - | 35 | - | 全減 |
| 大麻 | 件 | - | - | 1 | 3 | 2 | 67% |
| | g | - | - | 1 | 6 | 1 | 17% |
| 大麻草 | 件 | - | - | - | 1 | - | 全減 |
| | g | - | - | - | 5 | - | 全減 |
| THC類製品 | 件 | R6.12.12摘発分から 計上開始 | | | - | 2 | 全増 |
| | g | | | | - | 1 | 全増 |
| (参考) 大麻樹脂等 | 件 | - | - | 1 | 3 | R6.12.11を以って 計上終了 | |
| | g | - | - | 1 | 1 | | |
| あへん | 件 | - | - | - | - | - | - |
| | g | - | - | - | - | - | - |
| 麻薬 | 件 | - | - | - | 1 | 5 | 5倍 |
| | g | - | - | - | 0 | 1,065 | 1,065倍 |
| | 錠 | - | - | - | - | - | - |
| ヘロイン | 件 | - | - | - | - | - | - |
| | g | - | - | - | - | - | - |
| コカイン | 件 | - | - | - | 1 | 3 | 3倍 |
| | g | - | - | - | 0 | 1,065 | 1,065倍 |
| MDMA等 | 件 | - | - | - | - | 1 | 全増 |
| | g | - | - | - | - | 0 | 全増 |
| ケタミン | 件 | - | - | - | - | 1 | 全増 |
| | g | - | - | - | - | 0 | 全増 |
| その他麻薬 | 件 | - | - | - | - | - | - |
| | g | - | - | - | - | - | - |
| 向精神薬 | 件 | - | - | - | - | - | - |
| | g | - | - | - | - | - | - |
| | 錠 | - | - | - | - | - | - |
| 指定薬物 | 件 | - | - | - | 1 | 3 | 3倍 |
| | g | - | - | - | 5 | 16 | 3.2倍 |
| 小計(不正薬物) | 件 | - | - | 1 | 6 | 9 | 150% |
| | g | - | - | 1 | 17 | 1,066 | 62.7倍 |
| | 錠 | - | - | - | 35 | - | 全減 |
| 無許可輸出入等 | 件 | 2 | 4 | 16 | 17 | 4 | 24% |
| 金地金 | 件 | - | - | 1 | 12 | 2 | 17% |
| | g | - | - | 76 | 9,308 | 1,003 | 11% |
| その他 | 件 | 2 | 4 | 15 | 5 | 2 | 40% |
| 合計 | 件 | 2 | 4 | 17 | 23 | 13 | 57% |

(注)

- 1 税関が摘発した密輸事件のほか、警察等関係機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
- 2 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計を示す。
- 3 大麻草は、令和6年12月12日に施行された大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律で規制されている麻薬である大麻も含む。
- 4 THC類製品は、令和6年12月12日に施行された大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律における麻薬であるTHC類(テトラヒドロカンナビノール類)を含有する液体・菓子類をいう。同法改正前は、大麻取締法で規制されていた大麻樹脂、大麻リキッド、大麻菓子等の大麻製品を大麻樹脂等で計上していた。
- 5 MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。
その他の麻薬は、麻薬及び向精神薬取締法における麻薬のうち、大麻、ヘロイン、コカイン、MDMA等以外の薬種(ケタミン、LSD等)の合計を示す。
- 6 令和6年は、1事件で大麻草と大麻樹脂等を押収した事例があり、合計件数と内訳件数は一致しない。
令和7年は、1事件でMDMAとケタミンを押収した事例があり、合計件数と内訳件数は一致しない。
- 7 金地金には、金塊に加えて一部加工された金製品を含む。
- 8 端数処理のため数値が合わないことがある。
- 9 数量(g)の表記は、「0」は0.5g未満、「-」は全く無い場合を示す。

【摘発事例 1】

香港から熊本空港に到着した旅客の着衣（着用ズボンのポケット内）に隠匿された
指定薬物である亜硝酸イソブチル（液状物）6.87 g
を摘発しました。

[令和7年2月・八代税関支署熊本空港出張所摘発]



【摘発事例 2】

韓国から熊本空港に到着した旅客の携帯品（スーツケースに収納されたズボンの
ポケット内）に隠匿された

麻薬であるMDMA（粉末状）0.24 g

麻薬であるケタミン（粉末状）0.21 g

を摘発しました。

[令和7年5月・八代税関支署熊本空港出張所摘発]



【摘発事例 3】

韓国から鹿児島空港に到着した旅客の携帯品（リュックサックのサイドポケット内）
に隠匿された

麻薬であるコカイン（粉末状）0.14 g

を摘発しました。

[令和7年12月・鹿児島税関支署鹿児島空港出張所摘発]



長崎税関における関税法違反事件の処分実績

【告発】

(単位：件)

| 犯則態様 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 | 令和7年 | 前年同期比 |
|-------------|------|------|------|------|------|-------|
| | | | | | | |
| 禁制品輸出入事犯 | 9 | 2 | 6 | 9 | 7 | 78% |
| 関税脱税事犯 | - | - | - | - | - | - |
| 無許可輸出入事犯 | - | - | - | - | - | - |
| 虚偽申告輸出入事犯 | - | - | - | - | - | - |
| その他（手続き違反等） | - | - | - | - | - | - |
| 合計 | 9 | 2 | 6 | 9 | 7 | 78% |

【通告処分】

(単位：件)

| 犯則態様 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 | 令和7年 | 前年同期比 |
|-------------|------|------|------|------|------|-------|
| | | | | | | |
| 禁制品輸出入事犯 | - | 4 | 3 | 2 | 3 | 150% |
| 関税脱税事犯 | - | - | - | - | 7 | 全増 |
| うち金地金事犯 | - | - | - | - | 7 | 全増 |
| 無許可輸出入事犯 | 1 | - | 5 | 3 | - | 全減 |
| うち金地金事犯 | - | - | - | - | - | - |
| 虚偽申告輸出入事犯 | - | - | - | - | - | - |
| その他（手続き違反等） | - | - | 1 | - | - | - |
| 合計 | 1 | 4 | 9 | 5 | 10 | 2倍 |

【処分事例 1】

国際郵便物を利用してタイ王国から

大麻（植物片）約2kg

を輸入しようとした2名を佐賀地方検察庁に告発しました。

[令和7年2月・長崎税関告発]



【処分事例 2】

航空貨物を利用してアメリカ合衆国から
麻薬であるデルタ 9THC を含有する液状物 約 641g
を輸入しようとした 1 名を熊本地方検察庁に告発しました。
[令和 7 年 9 月及び同年 10 月・長崎税関告発]



麻薬を 2 枚の紙に挟んで隠匿



紙から分離した麻薬

【処分事例 3】

客船に旅客として乗船のうえ中国からベルトのバックル部分等に加工した
金製品 2 点 (約 1 kg)
に課される関税等を納付せずに輸入しようとした 1 名を通告処分しました。
[令和 7 年 8 月・長崎税関通告処分]

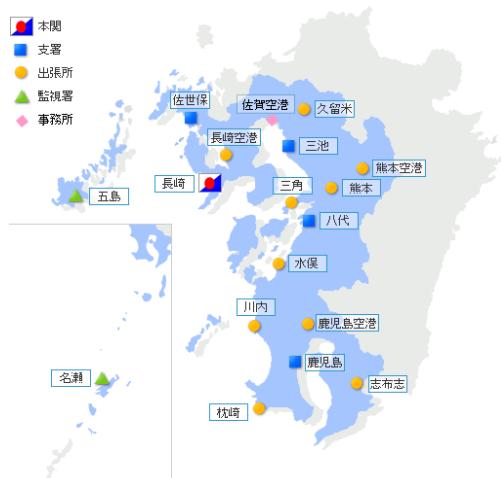


輸入時の状態（黒色塗料あり）



黒色塗料を剥離した状態

参考（長崎税関管轄図）



(※) 長崎税関管轄区域

- ・長崎県（壱岐、対馬を除く）
- ・福岡県及び佐賀県のうち有明海に近接する地域
(久留米市、大牟田市、佐賀市、鳥栖市等)
- ・熊本県
- ・鹿児島県